



発行所
岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号
 岐阜県県民ふれあい会館8階

毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)

事務局直通電話

管理調整チーム 058-277-1100(代)

組織指導チーム 058-277-1101

広報・事業チーム 058-277-1102

情報チーム 058-277-1103

事務局 FAX 番号 058-273-3930

東濃支所 0572-25-0865

飛騨支所 0577-34-4300

東濃支所 FAX 番号 0572-23-7431

飛騨支所 FAX 番号 0577-36-4220



↑(株)加藤製作所の新工場を視察
 蘇州日本工業村(標準工場)の鳥瞰図 →

中央会役員懇談会 in 上海



2006
10月号

主な記事

中央会の動き(大学活用セミナーほか) 2

組合等の動き(GFF・陶磁器まつりほか) 3

9月の景況調査 4

海外レポート(上海) 5

事務局だよ!改正組合法研修会の案内ほか) 8~9

時の
課題

といわれる上海地域、県内からも進出し成功を収めている企業も多い。そこで、そうした企業3社を訪問し成功の秘訣を探るとともに、蘇州の日本工業村、総領事館、JETRO等を訪問し現地の状況を調査し、会員組合・企業に紹介しようというもの。

ここでは、その中から、訪問した企業の状況、日本工業村の概要を紹介したい。

日本企業の信用力、高評価を目の当たりに

「役員懇談会 in 上海」を開催

訪問した3社の社長さん、いずれも確固たる信念をお持ちになって世界を視野に戦略を展開しておられることを痛感した。また、人を大切にする、信用を守るといった日本的経営の精神の大切さを確認できた。

まず、90年に上海に進出、森松工業(株)をタンクや圧力容器の世界的企業とされた松久社長さんを竣工を間近に控えた新工場に伺った。上海で5社めとなるこの工場は空港に隣接する好立地。松久社長は、中国進出のメリットとして、中国の工場建設費は日本の10分の1であり投資額の回収期間は膨大な差となること、優秀で熱心な人材の確保が容易であること等をあげられた。また、進出当初はコピー製品の出現に悩まれたが、大型工場、最新設備でそれに対抗、パネルタンク・貯湯槽 多分野の

タンク レアメタル製品・プラントと製品を高度化してきたとの説明もあった。さらに3千社もの競争相手に打ち勝つため、品質、納期の厳守といった信用力で顧客をしっかり固めているとのことであった。

続いて、自動車部品等金属精密プレス加工の(株)加藤製作所の新工場(10月竣工予定)に伺った。アメリカ、韓国、中国(上海)と海外展開を成功させた加藤社長さん(中央会副会長)は、成功の秘訣として、日本の技術(匠の技、デジタル化できない職人の技術)を大切にしていること、社員が働きたくなる会社を目指していることをあげられた。工場内は冷暖房完備、24時間生産でも人間は昼

だけの勤務、定年もないとのこと。また、最適地生産、最適地供給体制を図る中で、中国で儲けて日本に持ち帰ろうとい

うのはダメ 日本に拘泥するのではなく現地で再投資するべきだと述べられた。

ステレオ、携帯電話、カーオーディオのスピーカーコーン製造の(株)ギフクの現地企業にもお伺いした。幅社長さんからは、国際競争に打ち勝つ技術を大切にしているとの説明があった。そのため、最高の音を求めて新しい素材の開発に力を入れていること、徹底した検査体制で製品のレベル維持を図っているとのこと。これにより95年に進出した時には28人だった従業員が420人までに発展している。なお、世界初の量産技術のウッドコーンの一工程で木に湿気を与えるためには日本酒(しかも特定銘柄?)が最適とのことで工場内に一升ビンが鎮座していたのは面白かった。

(次頁に続く)

◆ 11月は「下請取引適正化推進月間」です。推進月間の標語「言葉より書面で確かな発注を」

(前頁から)

蘇州では、日本工業村を視察した。蘇州市政府の広大な工業団地「高新区」の中に位置する日本工業村は、日中合弁の蘇州日中架橋経済発展有限公司が管理する133万㎡(分譲115万㎡、賃貸用工場用地18万㎡)の広さの日本企業向けの工業団地で、上海とは4本の高速道路で結ばれ、日本人学校もある蘇州市内から15分の好立地にあり、昨年末にオープンした。中小企業向けの賃貸用工場(標準工場)は、1つの建物を区分して借りることも可能。管理会社の日本人や日本語が可能なスタッフが、従業員採用、経理、税務、通関、販売先や調達先の紹介等の相談にも乗ってくれるサービスもあり、低リスク、短期間で進出が可能とのこと。現に進出した富山県の会社の社長さんに聞くと、子供が中国で独立したいと言い出したのが1年前、既に標準工場の半分

を借りて仮稼働中。架橋の渡辺副社長からは岐阜県からもぜひ進出をと非常に熱心に勧められた。工場を移転するというより新事業を起こす、新分野に進出する場合の有力な選択肢の一つだと思われる。

今回の訪問で、多くの情報が得られ人のネットワークもできた。興味のおありの方は中央会専務理事が事務局長までどうぞ。

末筆になりましたが、丁寧に対応していただいた企業の方々、和気藹々の雰囲気に参加いただいた役員さん、ご案内いただいた県の上海事務所の塚原さん、そして川出県中小企業課長さんなど多くの方にお世話になりました。心から御礼申し上げます。

60人が出席！大学活用セミナーを開催

中央会は、中小企業が抱える技術課題や商品開発に関する悩みなどの相談先として、大学を身近な存在とするため「大学活用セミナー」を10月5日に県民ふれあい会館で開催した。

当日は約60人が出席。中部大学の庄山正志課長から、同大学研究支援センターの説明、共同研究や技術相談の事例の紹介があり、続いて、岐阜大学と共同研究を行った県内企業3社(神谷マテリアル岐阜㈱、㈱ランドモア、㈱飛騨唐辛工房)が、経緯や大学側の対応、共同研究によるメリットなどを発表した。

発表の中で「大学だからと尻込みせず相談に行けばいい。大学のノウハウは企業にとって必ずプラスになる。」との話があり、参加者に大学は中小企業のパートナーであることが強調された。続いて、岐阜大学産官学融合センターの小島正文コーディネーターより講評が述べられ、名刺交換会等の交流の後に終了した。

中央会が大学との橋渡しを致します。相談案件がございましたら、広報・事業チームまでお知らせ下さい！



現場に学ぶ交流会が大好評！

中央会と岐阜県異業種グループ交流推進協議会(大久保為芳会長)は、9月26日に「現場に学ぶ交流会」を開催し、施設見学や意見交換会を行った。

第一弾のフェザー安全剃刀㈱に引き続き今回訪問した企業は、今春に経済産業省が発表した「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれた㈱ナガセインテグレックスで、予定人員を大幅に上回る約40人が参加し、急遽2班に分かれて施設見学するなど大好評となった。

参加者から「複雑な一品ものを如何にして仕事として成立させるか、大変参考になった。」などの感想が述べられた。

青年部長が集結し意見交換会

岐阜県中小企業青年中央会(山岡利安会長)は、組合青年部長など代表者による「青年部長ガヤガヤ会議」を9月13日にホテルパークで開催した。

山岡会長を座長として進行し、出席した22人の青年部長らからは、業界の現状や課題、青年部の活動状況が報告されたほか、今後の青年部のあり方についての提言がなされるなど、活発な意見が出された。

また、新たな人的ネットワークの構築を目指して「ビジネス交流懇親会」も行い、会場では積極的に名刺交換する出席者の姿があった。



助成事業を活用した組合に聞きました！

組合をご紹介します。今回は業界が抱える課題解決に取り組んだ岐阜県米菓工業協同組合(加藤都喜男理事長)です。

テーマ：「米菓業界が取り組まなければならないキーワード～ISO、HACCP、マーケティング～」

米菓業界は、食の嗜好の変化や後継者難により廃業や規模縮小への動きに歯止めがかからず、海外からの安価な米菓の輸入も重なり、厳しい状況にある。

こうした中で、消費者は安全・安心な食品に関心が高く、適正な衛生管理・品質管理を実行することは企業としての責務となっており、ISOやHACCPへの取り組みが検討課題となっている。また、モノづくりに重点をおいた企業が多く、マーケティング

の重要性について認識がうすい企業も多いため、これらの課題への対応について研修会を実施した。

組合では、「企業においては、日頃から衛生面には細心の注意は払っているものの、ISOやHACCPといった食品安全に関するマネジメントシステムについては、負担費用等の要因により取り組みに消極的な企業が多かった。この研修会を通じて、組合員が検討してくれるのではないかと。また、マーケティングについては、高齢化社会を目前にして、あられ業者が取るべき戦略について提案があり、今後の参考になると思う。」と事業の成果について感想を述べた。

中央会では、組合が抱える課題の解決に向けて様々な支援をしております。研修会などを検討している場合は、費用の一部負担等の支援を致しますので、ご相談下さい。

行楽の秋!多治見と土岐で陶磁器イベント

美濃焼窯場めぐり

多治見市の市之倉(安藤日出武理事長)、笠原(中島竹壽理事長)土岐市の駄知(加藤征吾理事長)、下石(安田智治理事長)の4つの陶磁器工業協同組合は、連携して「美濃焼窯場めぐり」を9月30日と10月1日に開催した。

最寄駅から無料シャトルバスを運行するなど、それぞれの産地を巡ってもらうための配慮やスクラッチカードによる賞品プレゼント企画など、美濃焼産地のPRに努めた。

たじみ茶碗まつり

多治見美濃焼卸センター協同組合(井澤佳則理事長)は、10月8、9日に「たじみ茶碗まつり」を卸センター内で開催した。

まつりの目玉の美濃焼大廉売市には、組合員60社がテントを並べ、市価の半値で販売する商品もあり、多くの陶芸ファンで賑わった。また、今年は新企画として「食育フェア」を催し、組合で製作した絵本「ちやわんいっかのあさごはん」の販売を行うなど、食と健康の大切さをアピールした。



商店街に防犯カメラを設置

多治見ながせ商店街振興組合(美濃輪勝文理事長)は、安心・安全な商店街づくりを目指すため、商店街に防犯カメラ11台を設置するとともに、商店街の利用促進を図ろうと、商店街内で誰もがインター

ネットを利用できるように無線LANの整備を行った。

組合では、「カメラ設置は犯罪抑止につながり、子供やお年寄りが安心して楽しめる場所にしたい。また、情報化社会に対応した商店街づくりが差別化につながる。」と話し、商店街の活性化に期待を込めた。

印章供養と研修会を実施

岐阜県印章業協同組合(村瀬健理事長)は、10月1日の「印章の日」にちなんで、廃印供養式を岐阜市岩戸の弘峰寺で行った。

供養したのは、組合員が回収した約1500本の実印や会社印。印章碑の前に印鑑を置いて焼香し、本堂では、一つ一つ押印した護摩木を護摩壇に供えて祈念した。印鑑は後日、寺で燃やされ、印章碑に納められる。

また、中央会では同組合を対象に「魅力ある印章店をめざして」をテーマに年4回の研修会を実施しており、同日には第3回として「新しい商品の創作と開拓」について組合員が学んだ。

屋外広告の状況をチェック

岐阜県広告美術業協同組合(小林良之理事長)は、9月8日に「屋外広告の日(9月10日)」に合わせて、岐阜市の中心市街地の商店街で街頭啓発活動を行った。

行政や警察、地元自治会と協力して、約30人が2班に分かれて、屋外広告美化のチラシ配布、道路上に看板類を設置している商店主に撤去を求めると、歩道を歩いて屋外広告の状況をチェックした。

組合では、改善しても直ぐに元通りになってしまう現状に「業界でも条例などに違反しない範囲内で、どれだけ工夫をして店のPRが出来るかを考える必要がある。」と話していた。

GFFでアパレル産地・岐阜をアピール

(社)岐阜ファッション産業連合会(野口千寿雄理事長)は、「第46回岐阜ファッションフェア(GFF)」を10月3、4日にぱ・る・るプラザGIFUで開催した。

今年のテーマは「DREAM」。会場には、フェミニンな感じの作品やカジュアル系のものなど地元アパ

レル企業64社から113体の秋冬もののほか、一般市民や学生による作品も展示された。

また、岐阜市出身のアーティスト日比野克彦さんによるトークセッションも行われ、会場には多くの参加者が詰め掛けていた。



飛騨高山民宿(協)が県知事表彰

飛騨高山民宿協同組合(高垣義信理事長)は、IT化に先進的に取り組み成果を上げているとして、県知事表彰を受賞した。

組合では、ホームページ開設によってパソコンを扱えない宿の予約事務をサポートし、また、国際化にも対応するため英文での紹介も行っており、その結果、ネットからの予約が電話での予約の1.5倍となるなど、IT化に立ち遅れている組合員をサポートしていることなどが評価された。

表彰式は、10月8日に開催された『ソフトピアジャパン・IAMAS10周年記念式典』の中で行われ、古田知事より、高垣理事長に表彰状が授与された。

同氏は「お客様にとって充実したホームページとなるよう組合員の情報や地域情報を発信し、組合員を支援していきたい。」と話していた。

ホームページ
(<http://www.hida-yado.net/>)



本紙に組合活動を掲載しませんか!! 取材依頼など情報提供をお待ちしています。

組合の活動や事業、その他の取り組みについて本紙で掲載しますので、広報・事業チーム(058-277-1102)まで、ご連絡下さい。皆さんの取り組みを他の組合へ情報発信しませんか!

景況感、売上高 回復の動き

原油高の影響によるコストアップで収益は悪化

9月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち82組合による集計)を対象にまとめた『9月の特色』は次のとおり。

【9月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感、売上高 回復の動き、原油高の影響によるコストアップで収益は悪化 となっている。

9月の景況動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値はマイナス18となり、前月のマイナス31に対し13ポイントの大幅な改善となっている。4ヶ月連続の悪化の後、前月の3ポイントの改善に続き2ヶ月連続の改善となった。改善の要因は、悪化がマイナス37からマイナス26に大幅に減少したことが大きい。

他の主要な調査項目のDI値は、前月の動向に対し、売上高DI値10ポイントの改善、販売価格DI値4ポイントの悪化、収益状況DI値6ポイント悪化の動きとなった。

原油高騰に伴う燃料費や石油系材料・資材の価格上昇などによるコスト増が収益を圧迫し、売上の増加が収益改善に結び付きにくい状況が続いている。

業種別の特徴的なものとしては、概ね前月と同様、一般機械、輸送用機器の堅調に持続していること、建設では厳しい状況が続いていることである。

コメントによれば、業況の低迷要因として、原油価格上昇による原材料費、燃料費の上昇と価格転嫁難による収益悪化を指摘する意見が多く、また、堅調を維持している機械関係の業種においても、同様の指摘が強まっている。

県内中小企業主要業種の景況動向 (9月末調査)

表の見方：売上・景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品 豆腐 食肉(国産) 菓子 米 寒天水産物	製材						
		銘木						
		集成材						
		家具(飛騨地区) 東濃ひのき						
紙・紙加工品	家庭紙 特殊紙 紙加工品	紙						
		印刷						
化学	プラスチック							
窯業・土石	窯業原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産	窯業原料						
		石灰						
		生コンクリート						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感		
窯業・土石	窯業原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産	窯業原料								
		石灰								
鉄鋼・金属	铸件 刃物等金属製品(輸出) 刃物等金属製品(内需) メッキ	铸件								
		刃物等金属製品(輸出)								
一般機械	県金属工業団地 可児工業団地 金型	県金属工業団地								
		可児工業団地								
電器機械器具	電気機械器具 輸送用機器	電気機械器具								
		輸送用機器								
各種物産品	各種物産品(観光) 各種物産品(ギフト)	各種物産品(観光)								
		各種物産品(ギフト)								
卸売業	医薬品卸 電設資材卸 陶磁器産地卸 機械・工具販売	医薬品卸								
		電設資材卸								
		陶磁器産地卸								
小売業	青果販売 水産物商業 家電機器販売 メガネ販売 中古自動車販売 石油製品販売 共同店舗(東濃) 共同店舗(飛騨) 生花販売	青果販売								
		水産物商業								
		家電機器販売								
		メガネ販売								
		中古自動車販売								
		石油製品販売								
		共同店舗(東濃)								
商店街	岐阜市商店街 大垣市商店街 多治見市商店街 恵那市商店街 高山市商店街	岐阜市商店街								
		大垣市商店街								
		多治見市商店街								
		恵那市商店街								
		高山市商店街								
		サービス業	自動車車体整備 自動車タイヤ整備 長良川畔旅館 下呂温泉旅館 高山旅館 クリーニング 広告美術 情報サービス業 映像制作 飲食業 ビルメンテナンス 理容・美容業	自動車車体整備						
				自動車タイヤ整備						
				長良川畔旅館						
				下呂温泉旅館						
				高山旅館						
クリーニング										
建設業	土木(岐阜地区) 土木(飛騨地区) 土木・建築(羽島地区) 建築(各務原地区) 鉄構造物 電気工事 管設備工事 建築板金 木製建具 産直住宅(付知地区)	土木(岐阜地区)								
		土木(飛騨地区)								
		土木・建築(羽島地区)								
		建築(各務原地区)								
		鉄構造物								
		電気工事								
		管設備工事								
運輸業	貨物運送(県域) 軽運送	貨物運送(県域)								
		軽運送								

海外駐在員レポート

「中央会役員懇談会 in 上海」に同行して

上海駐在員 塚原 雅巳

今月号の1面「時の課題」においても今回の役員懇談会について取り上げられていますが、私も同行する機会をいただいたので、違う観点から報告いたします。

1 上海市及びその近郊に進出している岐阜県企業の動向

1985年に関市の縫製会社が湖北省黄石市に合弁工場を立ち上げたのをはじめ、80年代後半以降、岐阜県の繊維アパレル企業は委託生産先として、中国に次々と進出を行いました。

当時は中国の政治・経済がまだまだ不透明で、各種情報入手も容易でなく、また、89年に天安門事件も発生したため、日本企業の本格的な中国への投資、進出がほとんどない状況であったが、85年のプラザ合意による急減円高の進行、若年労働者の減少等による日本での経営環境悪化に伴った進出でした。

90年代後半から、繊維アパレル企業に加え、大手組立企業の進出に伴う関連の機械部品製造業等の進出が活発となり、01年12月の中国のWTO加盟後は、中国市場の信頼度が高まり、また、中国を工場としてではなく、巨大な市場として、生産拠点だけでなく、販売サービス拠点として進出する企業も増え、なかには、個人レベルでビジネスを始められる方も出ています。

最近の傾向としては、大手組立企業の要請による中国進出も一服し、工場建設等の新規投資案件が減少し、日本企業本体向けに業務連絡や情報収集を行う拠点としての駐在員事務所を設置するところが増えています。こうした企業は当面市場調査等を実施し、場合によっては生産・販売拠点に移行する可能性を持っています。

一方で、中国、特に沿海部においては経済発展に伴い、安価で勤勉な労働力をはじめとするコストの優位性が低くなり、また、世界各国企業が進出し、競争激化のため、撤退する企業や沿海部から内陸部や東北地方、あるいは東南アジア等へ工場の移転を実施、計画している企業もあります。

また、進出企業の中において、業績が好調な「勝ち

組」の中には、中国で追加投資として工場の増設、第二工場建設を行う企業も出ています。

現在、当事務所で把握している上海及び近郊の岐阜県進出企業は110社余り。進出に際し、岐阜県や当事務所に登録等の義務があるわけではないので、実際の進出企業数はそれより多いと思われ、また、中国で複数の現地法人を設立している企業も多いようです。



2 今回の訪問団の印象

今回の訪中団は、辻正会長をはじめ、様々な業種の企業経営者である役員の方が、自社、及び県や地元市等の公職での業務多忙中、ご参加されておられ、各訪問先でも熱心に耳を傾け、また、多くのご質問をされており、そのひたむきな姿勢に敬服しております。

また、普段、同じ中央会の役員であっても意見交換をされる時間はほとんどないため、今回の期間中、訪問メンバー間で、中央会の今後の構想など多方面にわたり、活発な議論をかわされ、非常に密度の濃い、訪中であつたと感じました。

今回の参加役員の方のほとんどが、何らかの形で中国とのビジネスを実施されています。ある役員の方が、「日本からは世界は見えないが、中国からは見ることができるのでは」と言われました。また、視察先の企業の中で、日本の先行きを心配されている経営者の方もみえました。

今回の訪中は、中国進出の成功の鍵、進出後の経営課題等を、その現場を拝見し、トップからの意見を伺い、調査されただけでなく、日本の企業経営等においても、参考となるが多かったのではないかと思います。

以前、ある企業経営者の方から、「中国進出は好き好きで行くものでない。従業員を含め岐阜県にある企業本体の存続のためのやむを得ない結果である」と伺ったことがあります。中国への進出という選択肢を含めて、日本の製造業を支える中小企業の母体(本社をはじめとする国内製造拠点)、また、教育をはじめとする日本の社会全般が元気を取り戻すことを期待してやみません。

最後に、当事務所の業務の大きな柱として、県内企業の支援があり、当事務所の母体であります県産業経済振興センターと一体となって、取り組んでおります。専門家による無料相談、展示会への出展、上海岐阜県人会の開催などの各種事業を実施しておりますので、同センター海外取引支援チーム、又は当事務所までお問い合わせ願います。



(株)ギフトクの上海現地法人での説明の様子

事務局だより

県下5会場で連携組織活用ミーティングを行います!

中央会では、組合をはじめとする中小企業連携組織の設立から事業運営まで、様々な支援を行っています。

そこで、県内の中小企業経営者の皆さんに連携組織の具体的な設立方法等について説明する「中小企業連携組織活用ミーティング」を開催します。

日時及び場所(いずれの会場も10:30~12:00)

高山市 11月7日 = 飛騨総合庁舎 厚生1会議室
大垣市 11月8日 = 西濃総合庁舎 5-1会議室

岐阜市 11月15日 = 岐阜総合庁舎 3東1会議室
多治見市 11月22日 = 東濃西部総合庁舎 5南会議室
美濃加茂市 11月29日 = 可茂総合庁舎 5-1会議室
「中小企業の連携組織について」本会指導員より、LLP、組合など各種連携組織について説明
LLP、組合等の設立について個別相談コーナーを開設
参加申し込みは、組織指導チーム(058-227-1101)までご連絡下さい。

改正組合法研修会のご案内

本年6月9日に中小企業等協同組合法の改正が国会で決定され、来年4月1日に施行されます。今回は、これまでにない大幅な改正が行われており、役員任期の変更、監事への業務監査権の付与、総会・理事会などの組合運営全般の規定が見直され、定款変更を必要とするケースもあります。

そこで、次のとおり研修会を開催しますので、いずれかの会場にご出席をお願いします。

飛騨会場 11月7日(火)13時30分~15時
飛騨・世界生活文化センター 会議室1
岐阜会場 11月15日(水)13時30分~15時
岐阜総合庁舎 大会議室
東濃会場 11月22日(水)13時30分~15時
東濃西部総合庁舎 大会議室

開催間近!事務局代表者懇談会

中央会では、県下2会場で「事務局代表者懇談会」を開催します。

岐阜会場:10月26日(木)15時から未来会館

高山会場:11月7日(火)15時から飛騨・世界文化センター

組合役員の皆様や事務局長様などにご参加頂き、意見交換会を行います。開催間近となりましたが、ご参加を希望される場合には組織指導チーム(058-277-1101)までご連絡下さい。

パソコン研修を開催中!

中央会ではパソコン研修を実施しています。今年度は5科目を設定し、現在までで延べ90人が受講しております。参加者からは「ビジネスシーンなどで活用できる操作などが身につくため助かっている。」といった成果が報告されており、今後の組合活動等に活かされる内容となっています。まだ空きのある講座もありますので、是非ご参加下さい。

なお、空きがある講座は次のとおり。お問い合わせは、情報チームまでお願いします。

PowerPoint **ビジネス活用講座**
会場:ドリーム・コア(11月16日)
ブログ簡単ホームページ作成講座(2日コース)
会場:ドリーム・コア(11月22日・12月6日)
関市まなびセンター(10月26日・11月2日)
飛騨センター(11月9日・11月16日)

開催予告!新分野進出・新事業展開セミナー

組合等中小企業者が勝ち残る一つの方法として、新たな分野への進出や新しい事業の展開が考えられます。そこで、皆様の事業経営の一助となるべく、新分野進出や新事業展開を実行された方々より、事業展開に至った着眼点や経緯について発表して頂くセミナーを12月5日(火)13時30分よりグランヴェール岐山で開催します。

セミナー発表者など詳細は本紙11月号で掲載します。是非ご参加下さい。

参加者募集!講師はあいはら友子さん

中央会と中央会レディースクラブは、俳優・心理相談員のあいはら友子氏を講師としてセミナーを開催します。

日時 11月14日(火)14時~16時
場所 グランヴェール岐山 3階「鳳凰」
テーマ 自分の運を最大限に生かす方法
男性・女性どなたでもご出席頂けますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

9月末商工中金岐阜支店貸出実績

用途区分 残高又は増減	設備資金	長期運転資金	短期運転資金	合計
9月末残高	21,409	40,951	38,001	100,361
9月月中増減	276	1,777	1,237	3,290
前年同月比増減	-274	-1,835	-404	-2,513

建設足場事業協同組合

理事長 清水敏之

〒501-6257 羽島市福寿町平方7丁目33番地2

☎ 058 397-0233

FAX 058 397-0237

適正な外国人研修生等の受入事業に関する研修会を予定しています!!

既にご承知のとおり、外国人研修生・技能実習生制度は、諸外国の青壮年に対し日本の産業・職業の技術、技能等の移転を図り、それぞれの母国での産業活動に貢献・寄与できるようにするための国際的な人材育成の事業です。特に、技能実習生は、通常の労働者と同様、労働関係法令、労働・社会保険関係法令等が適用されます。

しかし、現在、全国的に事業協同組合等の団体管理型による受入れついて、失踪、残業手当の未払等

不適正事例が発生し、国においても本制度の適正化に向けて改めて検討されることとなっております。

そこで中央会では、再度、本制度に関する義務と責任を再認識いただくことが重要と考え、研修会の開催を予定しています。詳細は本紙11月号でお知らせ致しますので、受入事業を実施している組合の皆様はご参加下さい。組合員の皆様に対して法令遵守の徹底をお願いします。

中退共制度の利用は中央会へ

中央会では、中小企業で働く従業員の退職金への支援として、「中退共制度」の利用を積極的に推進しています。この制度は、中小企業の退職金制度を国がサポートしているため、安全・確実・有利な特典があります。

また、平成24年3月末までにほかの制度に移行するなどの対策が必要となっている適格年金制度からの移行先としても利用できます。組合職員、企業の従業員の方々の退職金について中退共制度の活用をご検討下さい。お問い合わせは、広報・事業チームへお願いします。

無料配信中！中央会メールマガジン

中央会では、組合等中小企業者の皆様にとって役に立つ情報を迅速に提供するため、毎月2回(第2・4水曜日)無料で配信しています。

中央会ホームページ(<http://www.chukai-gifu.or.jp/>)にアクセスして頂き、専用フォームからお申込み下さい!

中央会両支所のFAX番号変更のお知らせ

中央会では、東濃支所及び飛騨支所のFAX番号を変更致しましたのでお知らせ致します。新しいFAX番号は次のとおりです。なお、電話番号に変更はありません。

【東濃支所】0572-23-7431

【飛騨支所】0577-36-4220

短縮機能登録などの変更をお願い致します。



十一月中

7日 事務局代表者懇談会(15時/飛騨・世界文化センター)

14日 女性部活動支援研修会(14時/グランヴェール岐山)

中小企業連携組織化ミーティング

(7日=高山市、8日=大垣市、15日=岐阜市、

9月21日~30日

22日 中部経済産業局官公需適格組合審査諮問委員会(中部経済産業局)

25日 岐阜県消費生活安定審議会(ふれあい会館)

28日 全中都道府県中央会事務局代表者会議(霞ヶ関東京會館)

29日 「組合女性部組織及び運営指針」作成委員会

10月1日~20日

22日=多治見市、29日=美濃加茂市)

改正組合法研修会

(7日=高山市、15日=岐阜市、22日=多治見市)

パソコン研修

【PowerPointビジネス活用講座】16日(大垣市)

【ブログ簡単ホームページ】

2日(関市)、9・16日(高山市)、22日(大垣市)

【フォトショップ基礎】8日(大垣市)

2日 小川法久岐阜土木事務所長来会(中央会・役員室)

5・18日 岐阜県航空機・同付属品製造業最低賃金専門部会(岐阜合同庁舎)

10日 岐阜県商工会連合会創立45周年及び同女性部連合会創立40周年記念式典(岐阜グランドホテル)

11日 レディース中央会全国フォーラムin石川(ホテル日航金沢)

19日 第58回中小企業団体全国大会(渋谷公会堂)



東濃ヒノキ白川市場協同組合

代表理事 板 頭 学

〒509-1113 加茂郡白川町三川1399 番地の3

☎ 0574 72-2345

FAX 0574 72-2520

高山米穀協業組合

会長理事 桑 谷 信 男

理事長 加 藤 明 彦

〒506-0008 高山市初田町2丁目32番地

☎ 0577 32-3100

FAX 0577 34-8404

◆ 11月は「賃金不払残業解消キャンペーン月間」です！「賃金不払残業」をなくしましょう。

【厚生労働省・岐阜労働局】